

# 平成30年度事業報告

公益社団法人 日本小児科学会

## 1. 学術集会の開催

第121回日本小児科学会学術集会（会頭 廣瀬伸一 福岡大学医学部小児科教授）を、平成30年4月20日（金）～22日（日）の3日間、福岡県福岡市（福岡国際会議場ほか）で開催した。

（参加者 6,600名、一般演題数 1,287）

## 2. 機関誌の発行

日本小児科学会雑誌を年12回、Pediatrics Internationalを年12回、それぞれ発行した。

## 3. 専門医関連事業

- 1) 小児科専門医試験を平成30年9月1日（筆記）、2日（面接）に京都府京都市（京都国際会館）で実施し、審査により426名を小児科専門医に認定した。
- 2) 日本小児科学会専門医の更新申請を平成30年3月及び9月に受付け、241名を承認した。
- 3) 日本専門医機構専門医の更新申請を平成30年3月に受付け、2,320名を合格とした。
- 4) 日本小児科学会研修施設の新規申請及び更新申請を平成30年3月及び9月に受付け、新規2施設、更新49施設を承認した。
- 5) 日本小児科学会研修支援施設の新規申請及び更新申請を平成30年3月及び9月に受付け、新規1施設、更新12施設を承認した。
- 6) 認定小児科指導医の新規及び更新申請を平成30年3月に受付け、新規315名、更新599名を認定した。
- 7) 新専門医制度による研修プログラム一次審査を行い、基幹179施設を承認した。

## 4. 各種委員会等の活動

本学会が目的とする事業を達成するため、以下の委員会・ワーキンググループにおいて調査研究、学術集会・講習会・フォーラム等の開催、機関誌の発行、専門医制度の運営、関係機関に対する要望、提言、諸外国の小児科関連団体との連携・協議などの活動を行った。

- |                |                       |          |
|----------------|-----------------------|----------|
| ・和文誌編集委員会      | ・英文誌編集委員会             | ・学術委員会   |
| ・用語委員会         | ・国際渉外委員会              | ・新生児委員会  |
| ・予防接種・感染症対策委員会 | ・社会保険委員会              | ・小児医療委員会 |
| ・小児医療提供体制委員会   | ・小児救急委員会              | ・JPLS委員会 |
| ・医療安全委員会       | ・薬事委員会                | ・広報委員会   |
| ・情報管理委員会       | ・子どもの死亡登録・検証委員会       | ・災害対策委員会 |
| ・こどもの生活環境改善委員会 | ・将来の小児科医を考える委員会       | ・倫理委員会   |
| ・生涯教育・専門医育成委員会 | ・男女共同参画推進委員会          | ・移行支援委員会 |
| ・小児慢性疾病委員会     | ・中央資格認定委員会、各地区資格認定委員会 |          |
| ・試験運営委員会       | ・専門医制度運営委員会           | ・利益相反委員会 |

- ・ 健やか親子 21 委員会
- ・ カルニチン欠乏症診断・治療指針改訂ワーキンググループ
- ・ 「日本におけるパリーブズマブの使用に関するガイドライン」改訂検討ワーキンググループ
- ・ 移行支援に関する提言作成ワーキンググループ
- ・ 日本小児医療保健協議会（四者協）担当合同委員会  
健康診査委員会、重症心身障害児（者）・在宅医療委員会、  
栄養委員会、治療用ミルク安定供給委員会

## 5. フォーラム、講習会等の開催

- 1) 小児死亡時対応講習会（平成 30 年 3 月 3 日：フクラシア品川）
- 2) 小児救急蘇生シンポジウム（平成 30 年 4 月 19 日：福岡国際会議場）
- 3) 学術集会市民公開講座（平成 30 年 4 月 22 日：福岡サンパレスホテル）
- 4) 思春期医学臨床講習会（平成 30 年 5 月 20 日：エッサム神田ホール）
- 5) 乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会 PartIII  
(平成 30 年 6 月 3 日：一橋大学一橋講堂)
- 6) 小児診療初期対応〔JPLS〕コース（平成 30 年 6 月 3 日：つくば国際会議場）
- 7) 小児在宅医療実技講習会（平成 30 年 6 月 3 日：千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- 8) Sedation Essence in Children Under Restricted Environment（SECURE）コース  
(平成 30 年 6 月 23 日：あいち小児保健医療総合センター)
- 9) 小児科医のための臨床研修指導医講習会  
(平成 30 年 6 月 29 日～7 月 1 日：クロス・ウェーブ梅田)
- 10) 小児診療初期対応〔JPLS〕コース（平成 30 年 7 月 14 日、15 日：九州大学）
- 11) インテンシブコース（平成 30 年 8 月 18 日、19 日：京都国際会館）
- 12) 小児診療初期対応〔JPLS〕コース（平成 30 年 9 月 8 日、9 日：兵庫県立こども病院）
- 13) JPLS 講師養成コース（平成 30 年 9 月 9 日：兵庫県立こども病院）
- 14) 小児診療初期対応〔JPLS〕コース（平成 30 年 10 月 21 日：愛知県医師会館）
- 15) 小児救急市民公開フォーラム（平成 30 年 11 月 18 日：高崎市総合保健センター）
- 16) Sedation Essence in Children Under Restricted Environment（SECURE）コース  
(平成 30 年 12 月 1 日：九州大学)
- 17) 小児科医のための臨床研修指導医講習会  
(平成 31 年 1 月 11 日～13 日：クロス・ウェーブ船橋)
- 18) 小児救急市民公開フォーラム（平成 31 年 1 月 12 日：JR博多シティ）
- 19) 小児死亡時対応講習会（平成 31 年 1 月 14 日：CIVI 北梅田研修センター）
- 20) 子どもの食育を考えるフォーラム（平成 31 年 1 月 26 日：帝京平成大学）
- 21) Sedation Essence in Children Under Restricted Environment（SECURE）コース  
(平成 31 年 2 月 16 日：東京医科大学)
- 22) 小児診療初期対応〔JPLS〕コース（平成 31 年 2 月 16 日、17 日：慶應義塾大学）
- 23) JPLS 講師養成コース（平成 31 年 2 月 17 日：慶應義塾大学）

## 6. ホームページに掲載した提言等

### 1) 予防接種・感染症関係

- ・「日本におけるパリビズマブの使用に関するガイドライン」の一部改訂について  
(平成 30 年 4 月)
- ・「知っておきたいわくちん情報」〔日本版 Vaccine information statement (VIS)〕  
(平成 30 年 5 月)
- ・ソリリス点滴静注 300 mg (エクリズマブ) 投与時の髄膜炎菌感染症発症についての注意喚起 (平成 30 年 5 月)
- ・MR ワクチンの接種推奨対象者について (平成 30 年 5 月)
- ・学校、幼稚園、保育所において予防すべき感染症の解説〔改訂版〕 (平成 30 年 7 月)
- ・日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール〔改訂版〕 (平成 30 年 8 月)
- ・2018/2019 シーズンのインフルエンザ治療指針 (平成 30 年 10 月)

### 2) Injury Alert (傷害速報) の学会ホームページ掲載、計 22 件

### 3) その他

- ・気管カニューレの事故抜去等の緊急時における気管カニューレの再挿入について  
(平成 30 年 3 月)
- ・日本医学会ガイドライン「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」に対する Q and A〔改訂版〕 (平成 30 年 3 月)
- ・入院から在宅療養への移行に係る中間施設の在り方に関する提言 (平成 30 年 5 月)
- ・乳幼児の虐待による頭部外傷 (AHT : Abusive Head Trauma) に関する共同合意声明について (平成 30 年 6 月)
- ・成長ホルモンの薬の適正使用について (平成 30 年 7 月)
- ・将来の小児科医への提言 2018 (平成 30 年 8 月)
- ・カルニチン欠乏症の診断・治療指針 2018 (平成 30 年 12 月)
- ・乳幼児揺さぶられ症候群について (平成 31 年 2 月)

## 7. 関係機関に提出した要望書等

- 1) 電話相談事業(#8000 事業)への更なる支援に関する要望 (平成 30 年 3 月 厚生労働省医政局長 宛 : 日本医師会、日本小児科医会、日本看護協会、日本小児保健協会、日本小児救急医学会との連名)
- 2) 少子化人口減社会を直視した次世代育成のための緊急提言 (平成 30 年 3 月 厚生労働大臣 宛 : 日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本周産期・新生児医学会、日本小児外科学会、日本生殖医学会、日本妊娠高血圧学会との連名)
- 3) 慢性便秘治療薬「AJG555」の早期供給に向けた要望書 (平成 30 年 7 月 厚生労働省医政局長 宛 : 日本小児栄養消化器肝臓学会との連名)
- 4) 小児慢性特定疾病対策および指定難病対策における平成 31 年度追加疾病の要望 (平成 30 年 10 月 厚生労働省健康局難病対策課 宛)
- 5) 定期接種実施要領「20 他市の市町村での予防接種」を実施していない自治体への関与についての要望書 (平成 30 年 12 月 厚生労働省健康局長 宛)

- 6) 医療用医薬品バレニクリン酒石酸塩添付文書改訂の再要望書（平成 31 年 2 月 厚生労働大臣、同省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長、医薬品医療機器総合機構安全管理監 宛：禁煙推進学術ネットワーク加盟団体として）

## 8. 表彰

日本小児科学会小児保健賞 3 名、日本小児科学会学術研究賞 5 名を表彰した。

## 9. 総会、役員会、その他

- 1) 平成 30 年 4 月 21 日に福岡県福岡市（福岡国際会議場）において通常総会を開催し、各種報告のほか、以下の付議事項を審議した。

付議事項	結果
1 平成 29 年度 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書に関する件	承認
2 理事の選任に関する件	〃
3 監事の選任に関する件	〃
4 第 124 回日本小児科学会学術集会会頭に関する件	〃
5 名誉会員推薦に関する件	〃
6 公益財団法人小児医学研究振興財団への寄付に関する件	〃

- 2) 理事会

理事会を 7 回開催し、入会申込の審査、その他の案件に関する審議、報告を行った。

- 3) 執行役員会議

執行役員会議を 3 回開催し、緊急案件、その他の議案について協議した。

- 4) 各地区代議員会はそれぞれ代議員会を開催した。

## 10. 事業計画および収支予算書

平成 31 年 2 月 23 日開催の理事会において、平成 31 年度事業計画および収支予算書を承認した。

### 11. 社員・会員の異動状況

	平成 30 年度末現在	平成 29 年度末現在	増減
社員（代議員）	581	585	△4
正会員（代議員を除く）	21,873	21,483	390
団体会員	0	0	0

### 12. 常勤事務局職員の異動状況

平成 30 年度末人員	平成 29 年度末人員	増減
11	11	0

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項

特になし